

# 「啓発型健診」試み着々

## 弘大 70人追跡調査、効果検証

(革新的イノベーション)の参画機関が開発した。従来の健診と異なり、健康診断からわずか数時間で受診者に結果を渡し、健康講座や医師の個別指導などの健康教育を実施。さらにその後の半年間、月2回のペースで健康や運動に関する情報を提供し、健康意識の向上を促す。

この日は、2月に続き医

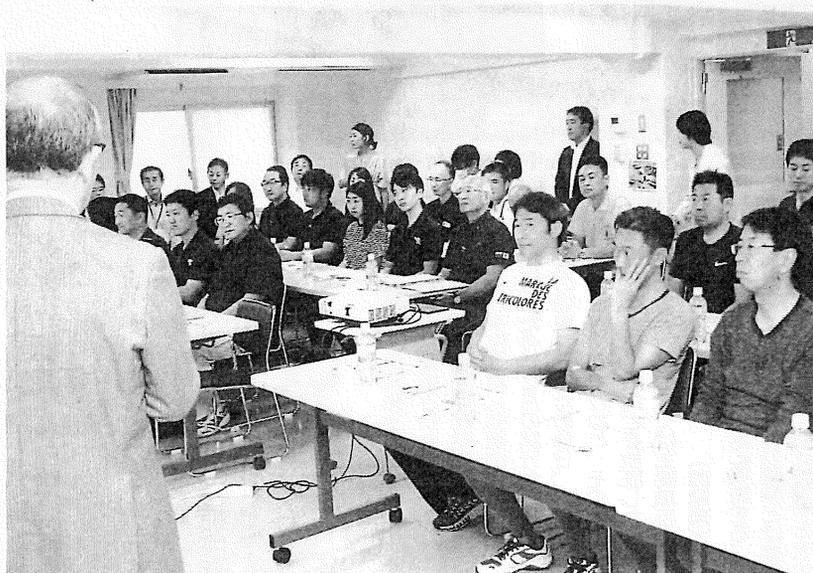
療機器販売業のシバタ医理科(弘前市)の社員が受診。「メタボリックシンドローム」「ロコモティブシンドローム」、口腔、うつ病など60項目を調べた。その後、健診結果を受け取り、専門スタッフから講話や個別指導を受けた。

今回得られた健康に関するデータや生活習慣の改善状況などの結果からさらに

(尾坂拓哉)

健康診断の結果を即日受診者に提示し、データを基に健康教育を行う新たな健康診断モデル「啓発型健診」の試みが弘前大学で進んでいる。同大で9日、半年前に啓発型健診を受けた70人を対象に、追跡調査として再健診が行われた。弘大などは今回の結果から、同健診の効果を検証する。

啓発型健診は文科省の研究プロジェクト「COI」



中路特任教授(手前)の講話を聞く受診者